

# 西白杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年2月 西白杵支庁  
(西白杵農業改良普及センター)

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き
  - 1 【管内】 令和7年度普及指導活動実績報告会を開催
  - 2 【管内】 「高千穂地区花き園芸振興会」主催の花育活動を支援
  
- II 主な普及指導活動等の取組み
  - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動
    - [総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]
    - [専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]
    - 1 【管内】 ドローンによる湛水直播栽培検討会の開催
    - 2 【高千穂町】 認定新規就農者の青年等就農計画見直し検討会
    - 3 【高千穂町】 新規就農者に対する支援
    - 4 【管内】 南那珂地域放牧研究会と西白杵型放牧ネットワーク会との交流
    - 5 【管内】 高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第11回）の開催
    - 6 【高千穂町・日之影町】 きんかん全戸巡回を実施
    - 7 【管内】 高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第11回）の開催
    - 8 【管内】 高千穂地区営農振興協議会花き部会（第11回）の開催
  
  - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動)
    - 1 【五ヶ瀬町】 農業経営改善計画作成支援
    - 2 【高千穂町】 押方地区で水稻品評会が開催されました
    - 3 【県内】 スイートピー県産品点検を実施

## I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

### 1 【管内】令和7年度普及指導活動実績報告会を開催

12日、普及センターにおいて標記報告会を開催し、農業経営指導士5名と各町（高千穂町及び日之影町の農林振興課長、五ヶ瀬町農林課長）から3名の出席がありました。

8つのプロジェクト活動実績（総合4課題、専門4課題）について、各担当から説明したのちに、出席された農業経営指導士からは、「釜炒り茶の産地をどう維持していくか」「ドローンを使った最新の直播技術の普及」など、産地の維持と省力化に関する御意見が寄せられました。

また、各町からは、就農相談をスムーズに進めるための体制づくりについて提案をいただくなど、行政と普及現場が一体となった支援の重要性を再確認しました。

そのほか、県の来年度予算案や、試験場での最新の研究内容についても紹介しました。

今後も引き続き、農業経営指導士や関係機関・団体からの御意見を反映した普及活動となるよう取り組んでいきます。



【スライドを用いて各担当から活動実績を説明】

### 2 【管内】「高千穂地区花き園芸振興会」主催の花育活動を支援

28日、宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校及び高千穂高等学校において、標記花き振興会による花育活動が行われ、地元の花き生産者（五ヶ瀬中等教育学校：スイートピー生産者、高千穂高等学校：ランタンキュラス生産者）の協力のもと、五ヶ瀬中等教育学校では1年生19名、高千穂高校では生徒会の生徒10名が花束づくりに挑戦しました。

管内の花きを使った花束を卒業生に贈る取組は、今年で11年目となりますが、この取組をきっかけに、管内生産の花きへの関心を寄せてもらいたいと思います。



【ランタンキュラス等の束ね方を指導する高千穂町の生産者】

## II 主な普及指導活動等の取組み

### 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ランタンキュラス、りんどう]

### 1 【管内】ドローンによる湛水直播栽培検討会の開催

13日、普及センターにおいて、標記検討会を開催し、ドローン直播に取り組む生産者と受託オペレーターの2名が参加しました。

検討会では、今年度の実証は実績と課題が共有され、特に「除草」と「病害虫対策」が焦点となり、出芽直後（2～3葉期）の害虫等対策と生育初期の雑草対策の重要性について意見交換を行いました。

今後も生産現場とオペレーター間の連携や技術改善を支援し、管内における直播栽培の面積拡大を推進してまいります。



【ドローンによる湛水直播栽培検討会】

## 2 【高千穂町】 認定新規就農者の青年等就農計画見直し検討会

9日、普及センターにおいて、関係者(町・JA)と共に認定新規就農者1名の青年等就農計画見直し検討会を行いました。

認定新規就農者からは、現在の栽培品目である大玉トマトからミニトマトへ変更する意向や作付面積の拡大計画について説明がありました。

今回の検討会をふまえて、青年等就農計画の見直しに向けて助言すると共に、今後も関係者と連携してサポートしていきます。

## 3 【高千穂町】 新規就農者に対する支援

24日から25日にかけて、昨年3月に高千穂ファーマーズスクールを卒業し、4月に就農した新規就農者2名(ラナンキュラス及びきんかん)の就農状況について確認を行いました。

ラナンキュラス栽培を開始した就農者については、気温上昇とともに出荷量が増加し、朝方まで調整作業に迫られる反面、やりがいも大きくなっている様子が伺えました。きんかんに取り組む就農者については、ハウス設置と本ぼの準備作業に邁進されている状況で、忙しい中にも楽しさを感じながら頑張っておられました。

今後も新規就農者の経営安定に向けて、定期的に巡回し支援していきます。



【新規就農者の栽培支援】

## 4 【管内】 南那珂地域放牧研究会と西臼杵型放牧ネットワーク会との交流

24日、南那珂地域放牧研究会の会員および関係者6名が、高千穂町と日之影町の放牧場を訪れ、現地視察を兼ねた交流会が行われました。昨年9月には「西臼杵型放牧ネットワーク」の会員が南那珂地域の放牧場を視察しており、今回は、互いの放牧管理技術を直接比較しながら検討できる貴重な機会となりました。両地域では地理的条件に違いはあるものの、交流を通じてそれぞれの知見を共有したことは、技術向上に向けた大きな一歩となりました。

今後も関係団体との連携を深め、西臼杵地域における放牧技術のさらなる向上と発展に努めてまいります。



【日之影町の放牧場を視察】

## 5 【管内】 高千穂地区営農振興協議会野菜部会(第11回)の開催

19日、普及センター研修室において、標記部会を開催しました。

会議では、県内の令和7年度展示ほ実績の共有や防除暦の検討や、1月の病虫害発生予察特殊報の情報共有を行いました。また、令和8年度の展示ほ計画について、実施時期や方法等の検討を行いました。

来月からは次作に向けた準備が始まるため、関係機関・団体と連携し、生産者への指導に取り組んでいきます。



【野菜技術員会】

## 6 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回を実施

3日から5日にかけて、日之影町と高千穂町において「きんかん全戸巡回」が行われました。

1月から始まった収穫作業は最盛期を迎えており、今回の巡回では、普及センターや町、JAなどの関係者が各園地を訪問し、生産者とともに収穫状況の確認や出荷スケジュールの調整を行いました。

また、果実の状態を直接確認しながら、今シーズンの管理を振り返り、次年度の安定生産に向けた病虫害防除のポイントについても助言を行いました。

今後も関係者と連携して、品質の良いきんかんが出荷されるよう支援していきます。



【きんかんの収穫作業】

## 7 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第11回）の開催

19日、普及センター研修室において、標記部会を開催しました。

会議では生育状況について共有し、作成した果樹産地構造改革計画について進捗を報告しました。また、令和7年度からの新たな「みやざきブランド認証制度」において、今年1月に産地認定を受けた「きんかん」について、来月から実施する「ひなたチェック」による内部検査シートや産地確認シートの調査協力を呼びかけました。

今後も関係者と連携して、果樹振興に向けて支援していきます。



【果樹技術員会】

## 8 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第11回）の開催

19日、普及センターにおいて、標記花き部会を開催しました。

ラナンキュラスやスイートピーの出荷状況の確認やリンドウの生育状況について報告しました。また、スイートピー県産品点検や花育活動の日程共有も行いました。

そのほか、本部展示は実績や令和7年度からの新たな「みやざきブランド認証制度」において、産地認定を受けた「スイートピー」について、来月から実施する「ひなたチェック」による内部検査シートや産地確認シートの調査協力を呼びかけました。

今後も関係機関・団体と連携し、高千穂地区における花き振興に取り組んでいきます。



【花き技術員会】

## 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

### 1 【五ヶ瀬町】農業経営改善計画作成支援

4日および5日の2日間、五ヶ瀬町役場において、認定農業者の認定（更新・新規）を希望する生産者2名に対し、町担当者と連携した個別支援を以下のとおり行いました。

- 4日（更新申請：茶生産者1名）  
次期認定期間に向けた農業経営改善計画書の作成支援。  
現状の経営課題抽出、5年後の経営目標の策定および改善策について検討
- 5日（新規申請：ブドウ生産者1名）  
経営収支計画の策定支援。  
初期投資と収支見通しの整合性を確認



【農業経営改善計画の作成支援】

### 2 【高千穂町】押方地区で水稻品評会が開催されました

27日、下押方公民館において、押方地域産業部主催の水稻品評会が開催されました。この品評会は、同地区で収穫された米の食味や収量を審査し、生産者同士が切磋琢磨することで稲作技術を高めようとして取り組まれている活動です。

本年度は15点の出品があり、普及センターでは事前に食味分析や収量調査等のデータ作成を支援しました。当日は、産業部長から審査結果が発表されるとともに、普及センターから各出品米の講評にあわせて、水稻の新品種「ひなた舞」について紹介しました。

### 3 【県内】スイートピー県産品点検を実施

27日、大阪府の「なにわ花市場」において、県内の関係者と共に、スイートピー県産品点検を行いました。本県産スイートピー6品（5産地、個人出荷1品）と他産地のスイートピー5品（大分、岡山、和歌山、静岡、愛知）の計11サンプルの品質調査（外観調査、出荷規格、花シミ・花傷み発生率）と出荷箱や包装資材など様々な観点で点検しました。

市場関係者（なにわ、鶴見）との意見交換では、『西臼杵産のスイートピーは、高品質な花が安定出荷されている印象であるが、例年に比べてステム（茎）が細いため市場単価が抑えられている』などの意見がありました。

今回の点検では、各産地の草姿や束の確認と共に、市場関係者からの意見聴取など生産現場に還元できる貴重な機会となりました。結果については、部会の実績報告会等を通じて生産者に伝達していきます。



【スイートピーの県産品点検】